

ロイヤル・コペンハーゲン

北欧の名窯たち



デンマーク ロイヤルコペンハーゲン 孔雀の大皿 1892年



デンマーク ロイヤルコペンハーゲン 銀巻蝶々図花瓶 1893~1908年

Royal Copenhagen



2017年11月29日(水) ▼ 12月27日(水)

会場◎岡崎市旧本多忠次邸

開館時間◎午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日◎毎週月曜日

入館料◎一般 300円 / 小中学生 150円

※岡崎市内在住・在学の小中学生、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介助者は無料

主催◎岡崎市 企画協力◎西洋骨董陶磁ロムドシン

岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU
〒444-0011 岡崎市久町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

北欧デンマークを代表する名窯「ロイヤル・コペンハーゲン」は1775年王室御用達窯として設立、1779年に王立磁器製造所となったのち、1868年に民間に売却されました。新たな活力をもって工房の再生を図る中、釉下彩や結晶釉という新しい技法が研究開発され、発表されたブルーの濃淡とジャポニズムを巧みに取り入れたアール・ヌーヴォー様式の作品は西洋の陶磁器界を席巻しました。コペンハーゲンブルーと呼ばれる深淵な青と繊細な絵付けは当時の王室や上流階級だけでなく、今なお人々を魅了してやみません。

本展では19世紀末から20世紀初頭に作られた「ロイヤル・コペンハーゲン」の陶磁器を紹介するとともに、同じくデンマークの「ピン

グ・オー・グレンダール」、スウェーデンの「ロストランド」など北欧の名窯の作品も併せて展示します。厳しくも美しい北欧の自然を思わせる陶磁器の数々をお楽しみください。

また今回はこうした北欧陶磁に影響をうけたとされる近代日本の陶磁器も特別に出品します。万国博覧会等を通して旧態依然とした日本美術に陰りをみた先駆的な窯は西洋のデザインや技術を持ち帰り、世界を相手に戦うべく努力を重ねました。今よりはるかに遠く隔てられていながら、互いの文化を認め高めあった東西の交わりを感じていただけたら幸いです。

関連イベント

ギャラリートーク 「北欧の陶磁器 ロイヤル・コペンハーゲンと名窯たち」

講師：塩川博義 氏

(日本大学教授、陶磁器コレクター)

内容：会場にて展示作品を見ながら北欧の陶磁器の魅力についてお話しします。

日時：2017年12月3日(日)

①午前11時～、②午後2時～

各回とも

●参加無料(要入館料)

●事前申込不要

※混雑した場合は参加を制限させていただく場合があります。

デンマーク ロイヤルコペンハーゲン
石楠花の下の鶏両手花瓶
1902～22年



デンマーク ロイヤルコペンハーゲン
トンボ図扁壺型花瓶
1896～1922年



デンマーク ピングオーグレンダール
鷺の胡椒入れ
1915～45年



スウェーデン ロストランド
浮彫透かし海草と魚図花瓶
1900～10年



日本 松風
藤図大花瓶
1890～1910年



岡崎市旧本多忠次邸

OKAZAKI CITY FORMER RESIDENCE OF HONDA TADATSUGU

〒444-0011 岡崎市欠町字足延40番地1(東公園内) Tel.0564-23-5015

徳川四天王のひとり本多忠勝(1548-1610)を始祖とする旧岡崎藩主本多家の子孫、本多忠次(1896-1999)が昭和7年(1932)、東京世田谷に自邸として建てた木造2階建の洋館です。平成24年(2012)に愛知県岡崎市に移築復原され、平成26年(2014)10月には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

【開館時間】 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

【休館日】 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日以降の最初の休日でない日)、1月1日～3日、12月29日～31日、展示替期間

【交通のご案内】

◎お車の場合：東名高速道路
「岡崎インター」から約5分。

◎公共交通機関：名鉄東岡崎駅の
②番バスのりばから東公園口方面
行きに乗り、「東公園口」下車、
徒歩3分。

